



- ☆生き生きとした内川の子ども
- ・進んで学び、よく考える子ども
- ・思いやりのある、やさしい子ども
- ・元気で、たくましい子ども

## 表現力・発表力を高める「わかあゆタイム」！

11月30日（金）は低学年、12月7日（金）は高学年の「わかあゆタイム」が行われました。

2回目となる低学年の子どもたち5人は、生活科で体験してきた「もったいない図書館」と「給食センター」に関する発表を行いました。クイズなどを入れながら、学んだことを伝える工夫もあり、すばらしい発表でした。

3回目となる高学年の子どもたちですが、5年生は、社会科（地理）で学習した稲作や地域の特色について発表しました。6年生は、社会科（歴史）で学習した歴史上の人物について発表しました。高学年は、学習サポート員の佐藤先生の授業で「プレゼンソフトを活用した発表」について学んだことを活かし、パソコンを使いながら発表しました。

それぞれとも相手意識を持った素晴らしい発表でした。写真で紹介します。

### ★ 1・2学年：生活科で体験した「もったいない図書館・給食センターについて」



「問いです。図しょかんにある本は、何さつでしょう？」

- ① 35万さつ
- ② 45万さつ
- ③ 55万さつ



「問いです。きゅうしょくセンターでは、何人分のきゅうしょくを作っているでしょうか？」

- ① 556人
- ② 656人
- ③ 756人

### ★ 5・6学年：「社会科で学習した内容について」



稲作について、月ごとの仕事をわかりやすく説明しました。



沖縄の気候や産業などを、写真を入れながら説明しました。



北海道の気候やアイヌ民族などについて説明しました。



学習発表会で演じた、織田信長について説明しました。



織田信長の後、天下統一した豊臣秀吉について説明しました。



江戸幕府を開いた徳川家康について説明しました。



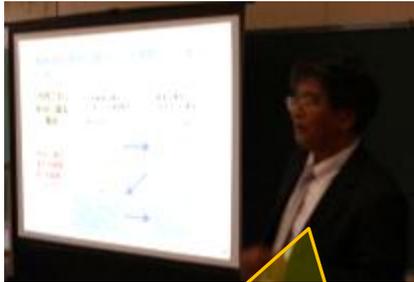
# 勉強になったね、放射線の授業！



12月6日（木）、授業参観の授業では、子どもたちの放射線に対する理解を深めるため、福島市にある除染情報プラザによる出前授業を行いました。講師には、三菱重工で長年「炉心設計」を行ってきた原子力・放射線部門技術士の横堀さんを東京からお招きし、「放射線とは何か?」、「その影響とは?」の説明をいただきました。

除染情報プラザの2名の先生方からは、放射線測定と霧箱による実験をしていただきました。

児童（17名）+教職員（8名）+保護者（18名）=43名で授業に参加し、大変勉強になりました。



「放射線の原子の数は、一定期間ごとに半分に減っていきます。最初の状態がおこりんぼうな原子200個の場合、1ヶ月後にはおとなしい原子100個とおこりんぼうな原子100個になります。」



放射線にはいくつかの種類があり、それぞれの物質を透過する能力が異なります。アルファ線は、紙（折り紙）で遮断されます。ベータ線は、アルミなどのうすい金属板で遮断されます。



見えない放射線が、霧箱の実験により放射線が飛んだ残像がたくさん見えます。すごいですね。



★ 水(H<sub>2</sub>O)が200cc(200g)あるとします。その水を半分にしていきます。1回目で100cc、2回目で50cc、3回目で25cc、…。何回目で水1個の分子になるのでしょうか？横堀さんの説明では、84回だそうです。

<クイズの答え>

- 本の数：②
- 給食の数：②